

鍼灸の魔術師

(5)

ペンギン・文・育

さん

糖尿病患者に福音

糖尿病は一言でいえば糖、内分泌代謝障害で死亡率は高く、心脳血管、癌に次ぐ三大死因の一つである。先ず血糖値が高いのが特徴で、国際糖尿病学会によると二〇一〇年には世界の糖尿病患者数は二・四億を超えるという。注意を要する問題である。東洋医学では糖尿病の理論的



裏付けは「黄帝内徑」、弁証論は「金匱要略」、兆候分類は「諸病源候論」に記載されている。即ち陰虚、過食、精神的ストレス、過労等が発症因子とされており、病理変化で特に注目すべき点は更に深刻な状態である腎陽虚に進み、陰陽とも衰え虚証を表すことである。また非インスリン依頼型とインスリン依頼型に分類され、前者が九割以上を占める。糖尿病でこわいのは余病の併発である。じわじわ進行する各種代謝の障りや神経、血管栄養に障害を来し抵

抗力が低下して循環器の病、気、水腫、性機能の衰え、目の異常、手足の麻痺などの合併症を引き起こすことである。糖尿病の治療で特に大切なのは食事療法である。体内のインスリンが不足する病人が何でも好きなものを好きなだけとると血糖値が高まり病気が悪化する。飲み物も物を合理的に制限しバランスを改善すると血糖値が下がり代謝が修正される。ペンギン先生の臨床経験上、針灸と食事療法で病状の進行がぐいとめ

ら健康を取り戻したケースが沢山あり、次にその治療法を読者の参考に供す。

●実例：ミツエさん(72歳)は去年の十二月末に初めて診療所を訪れた。かなり重い心臓病で病院では手術の宣告もしていたほど。視力は悪く血圧は低め、両足は力がなく糖尿病も深刻であった。治療を始めて二ヶ月たつと簡単な家事労働ができるようになった。心臓も強くなり視力も回復、250にのぼっていた血糖値も正常化し、心臓の手術は必要ないのではと喜んでいく。

針法：三皇穴、湧泉穴、三里、内関、公孫、耳針：内分泌点、腎、肝、脾、神門

灸法：関元、氣海、足三里、陰陵泉、隱白

薬草：八味地黄丸、腎氣丸、人參白虎湯、五苓散、竹葉氣善湯、生脈飲

氣功養生術：内養功、八段錦、二四式太極拳(東洋医学の理論の基本で老化防止、病氣予防など重要な役割を果たす)

血糖値をコントロールするための食物

蓮根湯、緑豆湯、冬瓜湯、西瓜皮湯、ゴイアフルーツ茶、ミールヨの髭茶、麦麩茶、さつまいもの葉、紅豆、豆乳、黒ゴマ、カボチャ、苦瓜、黄瓜、里芋、アーリオ、玉ねぎ、空心菜、ニンジン、大根、昆布、魚、白木耳、西洋参、黄耆、地黄など。(これらの食品は東洋食品店で売っている)

ミツエさん(64歳)は、去年の十一月に初診、強度な胃潰瘍、腰痛に苦しみ、毎晩二回はトイレに起きて

いた。右耳は聞こえず、五十肩も長く食欲不振で体重は減る一方。手の指は関節炎で痛み、コレステロールは240を超え、十年以上も糖尿病で悩まされていた。約二ヶ月治療を続けたら諸症状は全部好転し、検査の結果コレステロールは正常、血糖値は98に下がった。テイイチさん(78歳)は一月十日が初診。両方の耳とも難聴、肝、胃、腎が弱く腰痛、糖尿病の歴史も長い。治療を開始して二ヶ月経過すると聴覚が強まり、激しかった尿の泡がなくなり青筋も減少、肌はみずみずしく若返り、軽快に歩けるようになる。この他にも糖尿病改善例は二十件を上げる。現在の臨床治療でこうした成果を挙げるのは非常に難しい。まさしく糖尿病患者にとつては福音といえよう。詳しくはペンギン先生に直接問い合わせること。電話

3326-3927、3228-6030。